

千厩地区まちづくり協議会報

第29号
令和元年 6月25日 発行
事務局 千厩市民センター内
電話番号 TEL 52-2309

平成30年度決算などを審議



臨時総会で挨拶を述べる村上敬一会長

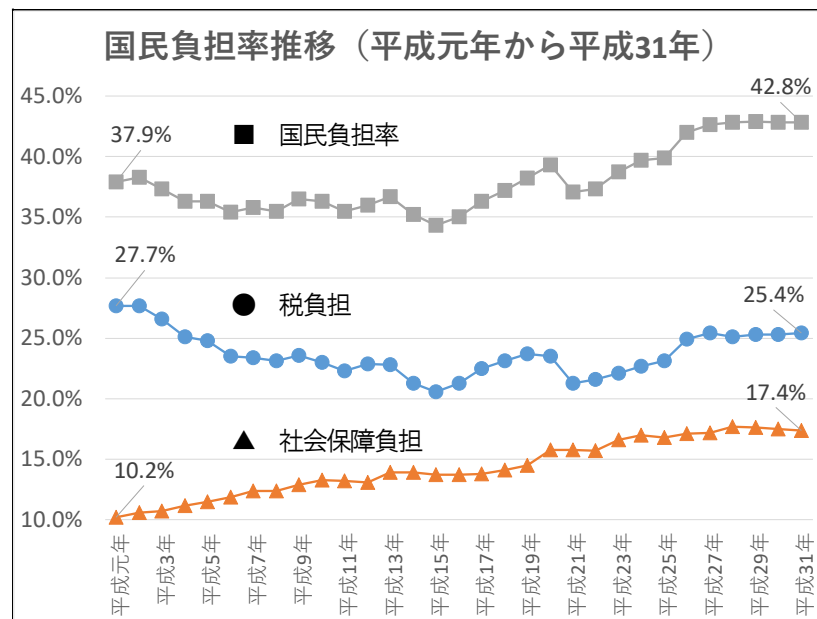
当協議会は5月30日、平成31年度臨時総会を開催し、平成30年度決算、平成31年度補正予算等について審議し、原案のとおり決定しました。委員からは、「出席者数が少なく、委任状が多い。出席してもらえるような工夫をすべき」「電気料金等の見直しなどコストカットを意識すべき」などの意見がありました。なお、総会資料と会議録は市民センターホームページで公開していますので、ご覧になってみて下さい。

国民負担率から地方の若者を考える

平成の30年間で、国民負担率はどのように変化し、また、地方の若者にどのような影響があったのでしょうか？

国民負担率とは「国民全体の所得に占める税金と社会保障費の負担の割合」です。「税負担」は国税や地方税等、「社会保障負担」は医療や年金等の保険料を表します。

下図は国民負担率のグラフですが、国民負担率は平成元年と比べ平成31年は**4.9%増大**し、社会保障負担は**7.2%増大**していることが



国民負担率推移グラフ(財務省HP：国民負担率の推移より作成)

見てとれます。給与から天引きされる分が多くなり、**手取りの金額割合が減少傾向にある**と思われます。また、税負担は**2.3%減少**していますが、平成元年は「バブル景気」といわれた時代であったことを考えると、近年は当時と同様の負担水準まで上がってきていると思われます。

今の若者は、「将来」に不安を持ち、「地方から大都市などへ出て行く」傾向がありますが、地方に居ても将来に不安なく生活できるようにしていくことが必要とされているのではないのでしょうか。今、住んでいる地域をどのような地域にしていくのか、一人一人が考える時ではないでしょうか？

地域活動報告（ふれあいサロン駒の会）

駒の会は、平成18年10月に設立し13年目を迎えています。代表は館澤五十七さんと、スタッフ5人(事務局2人、運営担当3人)です。

館澤さんは、駒の会が始まる以前からお年寄りが集まりお茶を飲む場所が必要と話し、駒の会設立以降、毎回出席しサロンのリーダーとして活動しており、充実した活動になっているのは館澤さんの努力によるものです。

サロンは毎月2回土曜日に駒場集会所で開催しており、会員は多い時には25人程いましたが、現在は17人が参加しています。会費はサロン1回当たり一人100円としており、そのほかに社協助成金、駒場自治会からの補

サロンの主な内容

「話題交換でボケ防止」

健康、認知症、日々の出来事などの新聞記事を切り抜き、持ち寄って話題とします。

「講習会」

保健師による健康講座や血圧測定などを行います。



持ち寄った話題で盛り上がる参加者



軽体操で体をほぐす会員

助金等で運営しています。駒の会の活動は、月2回のサロンとお楽しみ会として温泉への日帰り旅行があり、参加者は皆楽しみにしています。平成28年には三嶋の湯で10周年の会を行いました。

「軽体操やクイズなど」

合唱や早口言葉、間違い探し、時にはクイズなども行います。

「季節行事」

春にはお花見、冬にはクリスマス会などを行っています。



駒の会のみなさん

めもと橋の橋桁架かる

千厩川の宮敷・石堂地内で、仮称「新宮敷橋」(めもと橋)の上部工(橋桁)架設が14日行われました。この橋の名前や高欄の色等については、昨年7月、市役所千厩支所から当協議会に提案の依頼があり、2-2区、2-3区の自治会長などの協議による案を、当協議会役員会で了承し、提案したところです。完成までもうしばらくの間、楽しみに待ちましょう。



橋桁架設工事が行われためもと橋